

施策マネジメントシート(平成26年度の振り返り、総括)

作成日 平成 27 年 7 月 14 日

基本目標	VI	住民とともに歩む健全なまち	主管課	名称	まちづくり交流課
				課長	宮崎 育雄
施策	30	町民参画によるまちづくりの推進	関係課	総務課(総務)、総合政策課(企画)、議会事務局	

施策の目的	対象	意図	基本事業	基本事業名	対象	意図
	①町民	①まちづくりに積極的に参画する。		1 まちづくりに対する意識の高揚	まちづくりへの関心や意欲のない人	まちづくりに関心や意欲を高める。
		2 まちづくりの環境整備	まちづくりに参画している人、関心や意欲のある人	まちづくりに参画しやすくなる。		
		3				
		4				
		5				

成果指標	成果指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	A	必要な行政情報を入手できている町民の割合	%	実績値	58.7	56.6	56.4	53.7		
目標値					60.0	62.0	64.0	66.0	68.0	70.0
B	過去1年間に、町政に自分の意見を提示した町民の割合	%	実績値	7.8	6.4	7.0	6.2			
			目標値		8.0	8.4	8.8	9.2	9.6	10.0
C	過去1年間に、まちづくり活動に参加した町民の割合	%	実績値	49.8	47.5	51.9	47.8			
			目標値		50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
D	まちづくり活動の団体数	団体	実績値	22	28	32	33			
			目標値		24	26	33	33	33	33
E			実績値							
			目標値							
F			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方
 A) まちづくりに積極的に参加するためには必要な行政情報を入手できている必要があり、割合が高まれば目的の達成に繋がると考え成果指標とした。まちづくり基本条例では町民は必要な情報について知る権利を有するとしている。町民アンケートにより把握 ※必要とする町の行政情報を入手できていますか。→「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合
 B) 町民の意思が町政に反映されるためには意見を提示する必要があり、割合が高まれば目的の達成に繋がると考え成果指標とした。まちづくり基本条例では町民は意見を表明し提案する権利を有するとしている。町民アンケートにより把握 ※過去1年間に、町政に自分の意見を提示したことがありますか。→「はい」と回答した人の割合
 C) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的の達成に繋がると考え成果指標とした。町民アンケートにより把握 ※過去1年間に、まちづくり活動に参加したことがありますか。(まちづくり活動とは、地域における奉仕活動など、全ての公益的な取り組みを指します。)→「はい」と回答した人の割合
 D) まちづくり活動の団体数が増えれば、活動が活発に行われると考え成果指標とした。
 ※3地区まちづくり協議会、まちづくり活動を目的としたNPO法人及び今まで町の「まちづくり団体活動支援事業補助金」の交付を受けた団体の合計数

目標値設定の考え方
 A) 高齢であるほど行政に頼らなければならない人が増加するためか、行政情報を入手できている割合は増加。今後、高齢化が進むことを考え、過去の推移から推計すると、成り行きでは65%程度まで上昇。協働のまちづくりを推進するためには、現状、低い水準にある若年者を中心に、インターネットやメール配信などを活用した情報発信をおこなうことで70%をめざす。特に今回のアンケートでは、50歳未満の行政情報を入手できている割合が低いので、発信媒体の検討も必要。
 B) 高齢化が進むと行政に頼らなければならない人が増加するため、意見提示の割合も増加すると考える。必要な情報を入手できている町民の割合との相関が強い。目標では、意見提示の機会を増やすなど、平成29年度に10%(10人に1人)をめざす。
 C) 人口が減少するなど、地域コミュニティの維持が困難になりつつあり、地域力が低下するなど割合の減少が懸念される。平成29年度まで現状の水準を維持し、半数(50%)の参加をめざす。特に今回のアンケートでは、60歳代の参加割合が減少している。
 D) 現状の補助制度や予算では、平成23年度の実績値で推移すると考えられる。活動資金に対する相談件数は増加しており、今後、予算を拡大するなどして活動団体数を増加させ、平成29年度に34団体をめざす。また、活動団体を増やすと同時に、活動の質を高めていく。

施策のための目的・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	①まちづくりへの関心や意欲を高め、地域コミュニティやテーマコミュニティなど活動に積極的に参加する。 ②自らの発言と行動に責任を持ち、さまざまな機会を通じて意見を表明・提案する。	①広報・広聴活動を充実させるなど、行政としての現状・課題等を積極的に町民に伝え、情報の共有を図る。 ②地域コミュニティやテーマコミュニティの住民自治活動を推進する。 ③町民がいつでもまちづくりに関する提案ができるような環境づくりに努める。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	①人口が減少し、少子高齢化が進行すると、草刈りや祭りなどの地域の行事を継続することが困難になり、コミュニティの維持が難しくなる。人口減少の対応策として地区の統合が考えられるが、単純に地区と一緒にすればよいというものではない。 ②行政区の再編について、区長会に議案を提示している。 ③今後、児童・生徒がいなくなる地区もでてくる。また、コミュニティのリーダーになれる人がいなくなる可能性もある。 ④人口は減少しているが、世帯数は横ばいで推移している。1世帯あたりの人数が減少傾向にある。 ⑤SNS(フェイスブック、ツイッターなど)の普及が進み、利用者が増えている。	①地域コミュニティ 地域の人が減少しており、行事などの継続が困難である。また、活気がなくなりつつある。なんとか食い止められる術はないか。 ②テーマコミュニティ 積極的にまちづくりに参画したいと思っはいても、何をしてよいのか、どのように参画してよいのかかわからない。

施策	30	町民参画によるまちづくりの推進	主管課	名称	まちづくり交流課
				課長	宮崎 育雄

実績比較		背景・要因	
施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①必要な行政情報を入手できている町民の割合は、平成25年度56.4%から平成26年度53.7%と減少している。前年と比較し50代以下が低くなり、60、70代が高くなっている。若者の行政情報への無関心が増加している。今後、ツイッターやメール配信など魅力ある物にする必要がある。 ②過去1年間に町政に自分の意見を提示した町民の割合は、平成25年度7.0%から平成26年度6.2%と0.8ポイント減少。地区別では新治地区が4.7%と低く、年齢別では20歳代が低くなっている。 ③過去1年間に、まちづくり活動に参加した町民の割合は、平成25年度51.9%から平成26年度47.8%と4.1ポイント減少。 ④まちづくり活動の団体数は、平成25年度32団体から平成26年度33団体と1団体増えた。まちづくり団体活動支援事業補助金の交付団体は平成25年度14団体から平成26年度12団体と2団体減少。
	② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①昔から道普請や原材料支給で住民自らが道路水路整備を行うなど、特に都市部の自治体に比較して住民参加の水準は高いといえる。 ②近隣市町村で「まちづくり基本条例」を制定しているのは、みなかみ町だけである。県内でも制定は早いほうである。県内では太田市、玉村町、伊勢崎市が自治基本条例を制定している。 ③まちづくり協議会の交付金は、みなかみ町の独自の制度である。 ④平成26年度、まちづくり活動を行うNPO法人数を他団体と比較すると、利根郡にあるNPOは全部で29団体、その内みなかみ町に18団体ある。沼田市は15団体なので、沼田市以上のNPO法人が町内にあり、まちづくり水準が高いと考えられる。
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①必要な行政情報を入手できている町民の割合は、目標値64.0%に対し53.7%であった。年齢別では20歳代28.8%、30歳代30.3%、40歳代50.0%、50歳代51.2%、60歳代56.6%、70歳以上64.1%。60歳代が56.3%、70歳代64.1%と高い。高齢に行くほど高く、若年世代が低い傾向にある。 ②過去1年間に町政に自分の意見を提示した町民の割合は、7.0%に対し6.2%に減少であった。 ③過去1年間にまちづくり活動に参加した町民の割合は目標値50.0%に対し47.8%であった。年齢別にみると、50歳代から60歳代で50%以上の数値を示しているが、20歳代で13.3%、30歳代で37.9%と若年層で低くなっている。前回と比較すると70歳代が48.5%と5割を切っている。地区別では、新治各地区が50%以上となっている。 ④町内のNPO法人は平成26年度18団体となった。 ⑤まちづくり団体活動支援事業補助金の交付を受けた団体は2団体減って12団体あった。結果的にはまちづくり活動の団体数は、3地区のまちづくり協議会を含めると33団体となった。
成果実績に対する総括	①平成21年度から月夜野・水上・新治の3地区にまちづくり協議会が設置され、それぞれが活動を始めた。3地区に対してそれぞれ300万円ずつの交付金を出し、まちづくり事業を支援した。この事業は、行政主導ではなく、地域住民が主体となって事業計画や予算を決めたり、事業を実施するなど、自助・互助・扶助の精神を醸成することに役立っている。協議会の開催数は平成26年度27回、参加者数は平成26年度741人となっている。地区ごとにまちづくり協議会活動のあゆみ平成26年度版を発行した。また、交付金の執行率は、平成26年度81.8%であった。 ②地域コミュニティ施設整備補助金(平成25年度5件、平成26年度4件)、まちづくり団体活動支援補助金(平成25年度申請14件、平成26年度12件)などの協働のまちづくり支援制度が活用されている。 ③決算書、当初予算書、まちづくりハンドブック、町民アンケート等をホームページで公開した。 ④まちづくり協議会3地区合同意見交換会の開催 ⑤まちづくり協議会3地区合同事業として、町の花である「やまぶき」の植栽を統一事業として実施した。		

	基本事業名	今後の課題	平成28年度の取り組み方針(案)
今後の課題と取り組み方針(案)	1	まちづくりに対する意識の高揚 町外や町内で取り組んでいる具体的なまちづくりの事例を広報等で町民に周知し、住民が参画できるまちづくりを喚起することが必要。	三地区まちづくり協議会の活動に興味を持っていただけるように町広報誌やホームページで紹介する。
	2	まちづくりの環境整備 町内のまちづくり団体が情報交換できるようなネットワークの構築。 町民による自発的なまちづくり活動がしやすい環境の整備。	まちづくり活動に参画したい人が情報の発信や入手ができるような、体制づくりをおこなう。 「まちづくり団体活動支援補助金」制度を活用してまちづくり団体を支援する。
	3		
	4		
	5		

30 町民参画によるまちづくりの推進

30-01-000001 情報公開・個人情報保護事業				担当組織 総務課 総務グループ				事業費 0円										
予算科目 会計 一般会計 款 2総務費				項 1総務管理費 目 2文書広報費														
事業概要	手段と実績	3件請求があったが、そのうち2件は条例の規定により不開示			対象	みなかみ町民全般			意図	町民の町政参加の促進								
		請求件数	平成25年度	平成26年度		単位	みなかみ町の人口(4月1日住民基本台帳)	平成25年度		平成26年度	単位	開示件数	平成25年度	平成26年度	単位			
			0	0	件		21,285	20,915	人		0	0	件					
評価結果と今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括	条例等を見直す必要はないものの、町民がこの制度を利用できることを広く周知する必要がある。			今後の改革改善案	町民に広くこの制度周知し、より開かれた町政を進める必要がある。			課題とその解決策	請求件数が増えれば、異議申立の件数も増加することが考えられ、審査委員の資質の向上が必要になってくる。								

30-01-000002 広報みなかみ発行事業				担当組織 総合政策課 企画グループ				事業費 6,207,496円										
予算科目 会計 一般会計 款 2総務費				項 1総務管理費 目 2文書広報費														
事業概要	手段と実績	・発行回数12回(毎月1日、8,500部発行)・行政区を通じ、町内全戸及び関係機関へ配布・町のホームページに掲載			対象	・町民及び町内の事業所			意図	・町政の情報を入手してもらう。								
		発行回数	平成25年度	平成26年度		単位	人口(10月1日現在)	平成25年度		平成26年度	単位	町の行政情報を町報で入手している人	平成25年度	平成26年度	単位			
			12	12	回		20,035	19,739	人		82.4	88.6	%					
評価結果と今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括	・町民に対し行政情報をわかりやすく発信出来るよう努力しているが、担当課からの依頼原稿が町民にわかりにくく、校正に時間がかかる。・担当課からの情報がなかなか出てこない。・情報の発信は概ね出来ているが、内外からの依頼増によりページ数が増加し編集・校正にかかる時間が増えている。・担当者に事務が集中するため負担が多くなっている。			今後の改革改善案	・読みやすい紙面構成を作成するよう努力する。・掲載記事については、担当課で自発的に情報発信するよう意識付けを行う。また、なるべく担当課で仕上げてもらいたい、文章表現等の統一が難しい。			課題とその解決策	一人で作成することはできるが、紙面の編集等に時間がかかるため、特集記事や取材に充分に手をかけることが難しい。ホームページとのリンクなどを考え、2人で広報とホームページを行えるよう体制を整え以前より良くなったが、ホームページ担当が専従でないため効率的に発信できていない。								

30-01-000003 ホームページ管理運営事業				担当組織 総合政策課 企画グループ				事業費 1,068,876円										
予算科目 会計 一般会計 款 2総務費				項 1総務管理費 目 1一般管理費														
事業概要	手段と実績	・掲載情報の追加、修正、削除を随時実施。システム障害や落雷時等の機器保守、利用者情報の整理。			対象	町内外の人や団体			意図	町の情報を取得できる。								
		町公式ホームページ	平成25年度	平成26年度		単位	人口(10月1日現在)	平成25年度		平成26年度	単位	必要な行政情報を入手できている町民の割合	平成25年度	平成26年度	単位			
			1	1	件		20,035	19,739	人		56.4	53.7	%					
評価結果と今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括	各所属が更新をした場合、見せ方や表現方法などに微妙なズレが出る可能性がある。また、最悪な状況として更新をしない可能性もある。見る人によっては表記レベルが違ったり、古い情報が載っていたりするだけで、そのホームページの情報に不信感を持つこともある。ホームページに比べ町報で情報を得る人は多いが、随時更新できるという利点を活かしてホームページの良い部分を活用していく必要がある。また年間ページビューは約100万件あり、H25年度で特に閲覧が集中した日は、8/16のみながみ花火大会の日と、2/17の大雪の日に出出していた。			今後の改革改善案	正確で迅速な情報を閲覧者に届けるために、見やすく早い情報発信に努めていく。			課題とその解決策	現在のホームページ内のデータ階層や所属毎にリンクが統一されていなかったりと、更新作業にはある程度の理解力が必要である。(→このデータを修正する場合どここのページに影響するかなど)しばらくの間は、総合政策課で一括して更新作業を行い、見やすいホームページを目指し整理していく。2人体制で掲載を図っていく。								

30 町民参画によるまちづくりの推進

30-01-000004 議会だより発行事業				担当組織 議事事務局 庶務・議事グループ				事業費 2,040,940円										
予算科目 会計 一般会計 款 1議会費				項 1議会費				目 1議会費										
事業概要	手段と実績 ・議会だより35号～39号の発行 一発行により、町民参画の機会を増やす。(編集委員会開催、町民取材、連絡調整、HP掲載)・広報研修会参加 (1泊2日×2回、日帰り×1回)	対象 ・全住民			意図 ・議会への住民の関心を高める。議会と住民との情報共有を進める。													
		議会だよりの発行回数	平成25年度	平成26年度	単位	議会だよりの発行部数	平成25年度	平成26年度	単位	議会だよりの読んだことのある町民の割合	平成25年度	平成26年度	単位					
		4		5	回	8,200		8,200	数/1回			%						
評価結果と今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括 ・当町に於いて議会活動を住民に伝える手段として、かなり重要な事務事業である。住民参加のまちづくりへの有効性を重視しながら伝わりやすさの工夫で効果を上げたい。				今後の改革改善案 ・業者選定の検討(内容・費用・技術・応対)・発行までの時間短縮・住民目線での発行(取材及び報告)による相乗効果。				課題とその解決策 ・編集方針等のルーラ化やスケジュール管理等のマニュアル作成を行う。適切な業務分担。取材と報告を関連付け積極的に進行。									

30-01-000005 エフエム放送による広報事業				担当組織 総合政策課 企画グループ				事業費 466,560円										
予算科目 会計 一般会計 款 2総務費				項 1総務管理費				目 2文書広報費										
事業概要	手段と実績 ・毎月2回(第1・第3金曜日、17:15～約5分間) 特定番組放送・緊急時随時放送(緊急放送には隣接自治体と協力して行っているため、緊急放送回数はみなかみ町民だけを対象としていない)	対象 ・町民(FM尾瀬の放送を聴取できる人)			意図 ・リスナーに情報を提供する(町内外のリスナーに行政情報やイベント情報などを知らせることにより情報の共有やPRになる。)・緊急時などに、被害を最小限に食い止める。													
		特定番組放送回数	平成25年度	平成26年度	単位	人口(10月1日現在)	平成25年度	平成26年度	単位	行政情報をテレビ・ラジオで入手している人	平成25年度	平成26年度	単位					
		24		24	回	20,035		19,739	人	4.4		6.6	%					
評価結果と今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括 地域によっては、ラジオを受信できない所があり、すべての町民が聞けるわけではないが、H25町民アンケートでの行政情報の入手手段としては、町報(82.4%)、回覧(71.7%)、議会だより(63.3%)、口コミ(15.5%)、新聞・雑誌(9.4%)、インターネット(8.4%)、テレビ・ラジオ(4.4%)となっており、行政情報の入手手段としてはかなり下位にある。しかしながらこれらの手段を併用し、情報伝達力の強化につなげるための事業である。				今後の改革改善案 放送内容については、広報やホームページと併用し周知手段の1つとして活用していく。聴取者を増やす立てが難しい。				課題とその解決策 ・ラジオ聴取可能エリアが限られていることも含め、どの程度のニーズがあるのか把握できていないが、町民アンケートではH254.4%の人がテレビ・ラジオから行政情報を入手していると回答している。リスナーが増えない現状があると思われる。									

30-01-000006 まちづくりハンドブック事業				担当組織 総合政策課 企画グループ				事業費 0円										
予算科目 会計 一般会計 款 2総務費				項 1総務管理費				目 2文書広報費										
事業概要	手段と実績 当該年度に新規・拡充して実施する事業や町の行政状況を中心に掲載した冊子(まちづくりハンドブック)を編成し、町ホームページ上に公開した。	対象 住民、議員、職員			意図 町が行う事務事業について知るとともに、行政状況に興味・関心を持っている。													
		冊子配布部数	平成25年度	平成26年度	単位	人口(10月1日現在)	平成25年度	平成26年度	単位	配布世帯数	平成25年度	平成26年度	単位					
		0		0	部	20,035		19,739	人	0		7,200	世帯					
評価結果と今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括 掲載内容を町民のニーズを把握しながら随時更新していくことが求められる。平成26年度は作成しホームページ掲載に留めた。				今後の改革改善案 ①掲載内容を町民のニーズを把握しながら随時更新していくことが求められる。見てもらえなければ意味がない。②前年度末から準備を始め、発行時期を早める。③担当者が全て文章を作成しているが、膨大な時間を要する。各担当課へ依頼する方法を模索する。				課題とその解決策 HPや広報に情報を掲載しても、それを如何に住民に見せるか、冊子を配布しても如何に開いてもらうか読んでもらうかがカギ。町民が町の予算・財政に興味を持つには生活に直結していることを実感する必要がある。また、今後は事務事業評価を活用して、実際にどんな効果があったか(決算・実績)などを掲載することを検討していく。									

30 町民参画によるまちづくりの推進

30-01-000007		担当組織 総合政策課 企画グループ				事業費		276,624円								
住民意識調査(町民アンケート)事業		予算科目		会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	2文書広報費					
事業概要	手段と実績 総合計画に位置付けられた施策の進捗状況を把握するための設問や自由記述欄を設けたアンケートを配布し、結果を公表した。アンケート用紙の作成(3月) アンケート用紙の発送(3月末) アンケート集計(4月)	対象		①20歳以上の町民②行政機能			意図	①町政に自分の意見を提示する機会を確保する。 ②町民の意見を一定水準以上の精度で把握する。								
		アンケート対象者数	平成25年度	平成26年度	単位	人口(10月1日現在)		平成25年度	平成26年度	単位	アンケート回収率	平成25年度	平成26年度	単位		
		1,990	2,069	人	人口動態調査による	20,035	19,739	人	57.7	52.3	%					
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト	削減	維持	増加
	全体総括	H23年度は調査対象者数を1,000人に減らしたが、年代別集計などを行った場合にはサンプル数が少なくなってしまう、結果の信頼性が低下してしまった。H24年度は調査対象者数を2,000人にした結果、サンプル数も多くなり回答率も増加した。また、アンケート結果を単純集計しが行っていなかったが、年齢別や地区別のクロス集計を行うなど、結果をフルに活用することで、成果は向上すると考える。アンケート結果は行政評価に活用されている。		今後の改革改善案	一定水準以上の信頼性を得られるアンケートとするためには、約50%の回収率を想定すると、2,000人を対象として実施するのがよいと考える。また、調査結果を報告書としてまとめ、ホームページや広報などで積極的に公表していくことで、アンケートの必要性なども認識していただけると考える。		課題とその解決策	対象者数を2,000人に増やした場合、20歳以上の町民の1割以上の方が対象となり、同一世帯に連続してアンケートが届く可能性が高まる。より精度の高いアンケートとなるよう回答率を低下させないためにも、配布の方法やアンケート内容などを工夫していく。								

30-01-000008		担当組織 まちづくり交流課 商工振興グループ				事業費		6,000,000円								
みなかみ花火大会事業		予算科目		会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	7地域振興費					
事業概要	手段と実績 ・補助金申請事務を行った。・実行委員会へ出席した。・部会へ出席した。・前日の会場準備に参加した。・当日の係員として参加した。・補助金支払い事務を行った。	対象		町民			意図	・花火大会を通して町民が交流できる。・みなかみ町の魅力を町外に向け発信してもらう。								
		祭参加数(入り込み)	平成25年度	平成26年度	単位	町民(4月1日住民基本台帳)		平成25年度	平成26年度	単位	参加人数	平成25年度	平成26年度	単位		
		20,000	20,000	人		21,285	2,915	人	20,000	20,000	人					
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト	削減	維持	増加
	全体総括	町内外から、昨年並みのお客さんが来場した。ラジオ放送など新たな取り組みも試し、よりスムーズな進行に努めた。会場内で事故もなく無事に終了することができた。		今後の改革改善案	10周年記念事業に合わせイベント内容を検討していく。		課題とその解決策	駐車場の確保が課題である。								

30-01-000009		担当組織 総務課 総務グループ				事業費		円								
叙勲・表彰事業		予算科目		会計		款		項		目						
事業概要	手段と実績 死亡叙勲、高齢者叙勲、春秋叙勲の上申事務潜在候補者の調査功労者表彰の申請事務	対象		潜在候補者、議員、職員			意図	対象者を漏れなく把握する								
		死亡叙勲、高齢者叙勲、春秋叙勲の上申数	平成25年度	平成26年度	単位	潜在候補者		平成25年度	平成26年度	単位	上申漏れの数	平成25年度	平成26年度	単位		
		1	3	人		46	44	人	0	0	人					
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト	削減	維持	増加
	全体総括	現在の人員、事務量の中で上申漏れがないよう最低限の事務を行っている。		今後の改革改善案	この事業の成果は、上申漏れをしないことであるが、これは、最低限のことである。実際の問題点は、短期間でまとめたければならない上申書作成事務の事務量である。これを解決するためには、潜在候補者の功績や履歴等をあらかじめまとめておくことであるが、これを実施するには人員や時間が増大が必要である。		課題とその解決策	事務を改善するためには人員や事務量の増が必要だが、職員が減る中でこれは難しいことである。限られた人員の中で、問題を解決するには、適正な事務分担、グループ制を生かした事務を実施していくことである。								

30 町民参画によるまちづくりの推進

30-01-000010 請願・陳情事業				担当組織	議会事務局 庶務・議事			事業費	円					
				予算科目	会計		款		項		目			
事業概要	手段と実績	請願、陳情		対象	町民の意見や希望			意図	採択され、民意を伝える					
		請願	平成25年度		平成26年度	単位	請願		平成25年度	平成26年度	単位	採択数(請願)	平成25年度	平成26年度
				8	件			8	件			4	件	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input type="radio"/> 効率性 <input type="radio"/> 公平性 <input type="radio"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括		政治に民意を反映させるための重要な事務事業であるため、より役立てていくべきである。		今後の改革改善案		特になし		課題とその解決策		特になし			

30-01-000011 みなかみ町10周年記念事業実行委員会活動支援事業				担当組織	まちづくり交流課 ブランド推進			事業費	14,978,854円					
				予算科目	会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	7地域振興費		
事業概要	手段と実績	補助金を交付し活動を支援する		対象	実行委員会			意図	実行委員会が円滑に事業を展開し効果的な事業(イベント)を実施する					
		企画したイベント数	平成25年度		平成26年度	単位	実施したイベント数		平成25年度	平成26年度	単位	イベントの参加者数	平成25年度	平成26年度
				4	事業			4	事業			1,000	人	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="radio"/> 公平性 <input type="radio"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下	
	全体総括		実行委員会が効果的かつ積極的な記念事業を展開できる環境を整える必要がある。		今後の改革改善案		より地域に根ざした活動となるよう丁寧な呼びかけを行いながら、事業展開を行う。		課題とその解決策		関係者の合意形成等			

30-02-000001 区長会事業				担当組織	総務課 総務グループ			事業費	19,670,758円						
				予算科目	会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	1一般管理費			
事業概要	手段と実績	総会・役員会議開催、資料作成等、区運営交付金支払い、区長報酬支払い、調整等		対象	みなかみ町民全般			意図	町民との情報共有ができ、行政情報がリアルタイムに入手伝達できる。						
		行政区(町営含む)	平成25年度		平成26年度	単位	みなかみ町の人口(4月1日住民基本台帳)		平成25年度	平成26年度	単位	町の行政やまちづくりの情報入手している町民の割合	平成25年度	平成26年度	単位
				60	区			21,285	20,915	人			56.4	53.7	%
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="radio"/> 公平性 <input type="radio"/>		<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括		合併により行政区も60地区と多くなり、全体の会議は年度当初の総会のみであるが、役員会議を隔月開催し、スムーズな行政推進ができるよう実施している。しかし、高齢化に伴い集落が維持するのが困難になってきている地区もあり、区の統合も地区レベルでの話し合いが少しずつ進んでいる。行政区の統合が進めば、事務時間の削減が可能となり、効率的で効果的な行政サービスに結びつく。		今後の改革改善案		区の統廃合にむけ、区長会としての協議の場を一つ進めていく。		課題とその解決策		行政推進をスムーズに進めるためには、行政区の協力が不可欠であり、今後一層の協力的体制強化を進めなければならない。高齢化や地区住民の減少、農地の荒廃や鳥獣被害対策、多種の問題山積み、行政だけでは解決できない状況である。地区の協力関係を区長を中心に緊密に連携できる組織づくりが課題。				

30 町民参画によるまちづくりの推進

30-02-000002 まちづくり協議会事業				担当組織 まちづくり交流課 地域振興グループ				事業費 7,544,804円					
予算科目 会計 一般会計				款 2総務費		項 1総務管理費		目 7地域振興費					
事業概要	手段と実績	・3地区におけるまちづくり協議会の開催			対象	町民			意図	一人でも多くの町民にまちづくり活動に参加してもらおう			
		まちづくり事業数	平成25年度	平成26年度		単位	まちづくり参加者目標数	平成25年度		平成26年度	単位	まちづくり参加者実績数	平成25年度
			35	35	事業		1,450	1,500	人		1,220	1,300	人
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		〇 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		× 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		× 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		〇 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括 協働のまちづくりの基本的な考えである自助・互助・扶助の考えが徐々に理解されてきた。各地区協議会において、趣旨に合致した事業を実施するようになった。		今後の改革改善案 事業の成果を急ぐのではなく、まずは協働のまちづくりの基本的な考え方を理解していただけるよう、講演会や広報活動に重点を置く必要がある。		課題とその解決策 各地区協議会への支援交付金があるため、お金を使い切ることが優先されがちである。コミュニティの充実・強化という事業の目的を重視し、各事業内容について、協議会で十分な話し合いが必要。								

30-02-000003 コミュニティ助成事業				担当組織 まちづくり交流課 地域振興グループ				事業費 4,600,000円					
予算科目 会計 一般会計				款 2総務費		項 1総務管理費		目 7地域振興費					
事業概要	手段と実績	〔一般コミュニティ助成〕・平成27年度申請事務(阿能川区、猿ヶ京区)・平成26年度助成事務(おいでまつり実行委員会、今宿壮健)(魅力あるコミュニティ助成)・平成27年度申請事務(湯原区)			対象	行政区(区民)			意図	コミュニティの健全な発展と宝くじの普及広報			
		申請数	平成25年度	平成26年度		単位	申請可能数	平成25年度		平成26年度	単位	申請実績数	平成25年度
			3	2	件		3	3	件		3	2	件
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		〇 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		〇 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		× 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		〇 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括 今のところ、行政区の申請段階で全ての要望を受け、申請できているが、市町村枠の減額や制度改正があれば要望に対応できなくなる恐れがある。その場合、町の単独施策を創設し対応することが可能かどうか検討する必要がある。		今後の改革改善案 今後も今までどおりの補助事業が継続していくかどうか不明だが、できるだけ要望には応えるよう事務を進めていく。事業のやり方を合理的に改善し、業務時間の削減等に努める。		課題とその解決策 助成した備品をより有効に活用し、コミュニティの健全な発展を目指していきたい。								

30-02-000004 まちづくり団体活動支援事業補助金交付事業				担当組織 まちづくり交流課 地域振興グループ				事業費 2,689,000円					
予算科目 会計 一般会計				款 2総務費		項 1総務管理費		目 7地域振興費					
事業概要	手段と実績	補助事業としての採択によるまちづくり活動の支援			対象	まちづくり団体等(町内のまちづくり活動を行うNPO)			意図	補助金申請			
		補助金申請件数	平成25年度	平成26年度		単位	まちづくり団体等	平成25年度		平成26年度	単位	補助金申請件数	平成25年度
			15	12	件		15	12	団体		15	12	件
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		× 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 意図の見直し		× 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携		× 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		〇 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括 需要も多く、まちづくり団体の活動が活発化している反面、本当にまちづくりに直結する活動が否かさらに精査する必要がある。		今後の改革改善案 対象意図の明確化と精査。		課題とその解決策 対象意図の明確化と精査。								

30 町民参画によるまちづくりの推進

30-02-000005 地域コミュニティ施設整備事業補助金交付事業				担当組織 まちづくり交流課 地域振興グループ				事業費 3,398,000円													
予算科目 会計 一般会計 款 2総務費				項 1総務管理費 目 7地域振興費																	
事業概要	手段と実績	補助事業として採択によるまちづくり活動の拠点施設整備支援 事前相談 申請書受付 交付決定 実績報告 補助金支出			対象	行政区及びコミュニティ組織			意図	補助金申請											
		補助金申請件数	平成25年度	平成26年度		単位	行政区	平成25年度		平成26年度	単位	補助金申請件数	平成25年度	平成26年度	単位						
			5	4	件		60	60	区		5	4	件								
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input checked="" type="radio"/>			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括	現在、施設改修などハード部分の補助金が減少している中、数少ない補助金であるため需要は多いが、今後は事業の内容を精査し、より地域活性化に有効な事業を選定し交付する必要がある			今後の改革改善案	申請内容を精査し、より地域活性化に有効な事業への交付を行う。			課題とその解決策	申請内容を精査し、より地域活性化に有効な事業への交付を行う。											

30-02-000006 まちづくり活動つなぎ資金貸付事業				担当組織 まちづくり交流課 地域振興グループ				事業費 円													
予算科目 会計 一般会計 款				項 目																	
事業概要	手段と実績	つなぎ資金の貸付対応、貸付及び償還事務			対象	町内に事務所等を有する団体で国、県又はその他の団体の補助金等交付決定を受けている団体			意図	つなぎ資金の貸付											
		申請団体件数	平成25年度	平成26年度		単位	まちづくり団体数	平成25年度		平成26年度	単位	貸付団体数	平成25年度	平成26年度	単位						
			6	8	件		14	12	団体		6	8	団体								
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input checked="" type="radio"/>			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括	補助金交付までの期間、一時的に貸付を行うことで滞りのないまちづくり活動を行うことができる。			今後の改革改善案	現状維持			課題とその解決策	現状維持											

30-02-000007 群馬県地域づくり協議会参画事業				担当組織 まちづくり交流課 地域振興グループ				事業費 6,500円													
予算科目 会計 一般会計 款 2総務費				項 1総務管理費 目 7地域振興費																	
事業概要	手段と実績	会費負担金の支出			対象	群馬県地域づくり協議会			意図	県内の地域づくりに関する情報の収集											
			平成25年度	平成26年度		単位		平成25年度		平成26年度	単位		平成25年度	平成26年度	単位						
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性 <input checked="" type="radio"/>			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括	引き続き加盟し、情報を受けるだけでなく活性化に結びつくような事業に参加していく。			今後の改革改善案	特になし			課題とその解決策	特になし											

30 町民参画によるまちづくりの推進

30-02-000008 地区別懇談会事業				担当組織 総務課 秘書グループ				事業費				円												
予算科目				会計				款				項												
事業概要	手段と実績	・「町長と語る会」開催 *平成22年度 テーマ「少子高齢化」 18回開催 255人参加			対象	・町民			意図	町長と直接意見交換できる機会をつくる。														
		町長と語る会の開催回数	平成25年度	平成26年度		単位	全町民	平成25年度		平成26年度	単位	町長と語る会に参加した人数	平成25年度	平成26年度	単位									
		0	9	回		21,285	20,915	人		0	150	人												
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持				目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し				有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携				効率性 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更				公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化				コスト <input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 増加			
	全体総括	今回は9回の開催であり、一地区あたり15名程度の参加であったが、各地区とも熱心に意見交換できた。開催時期やテーマ等今後、より多くの町民の方が参加できるよう検討していきたい。				今後の改革改善案	・実施時期、地区割り、テーマ等、今後実施する場合、再考が必要である。				課題とその解決策	町長の意向により実施するため、特になし												

30-02-000010 たくみの里運営協議会運営事業				担当組織 まちづくり交流課 地域振興グループ				事業費				20,077円												
予算科目				会計 一般会計				款 2総務費				項 1総務管理費				目 7地域振興費								
事業概要	手段と実績	会議の開催、議事録作成			対象	たくみの里運営協議会会員体験型サービス事業者			意図	たくみの里運営協議会を円滑に運営し、安全で楽しい魅力的なサービスを提供してもらう														
		会議開催数	平成25年度	平成26年度		単位	たくみの里運営協議会会員	平成25年度		平成26年度	単位	会議に参加した人数	平成25年度	平成26年度	単位									
		0	0	回				人		0	0	人												
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持				目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し				有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携				効率性 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託・分担変更				公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化				コスト <input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 増加			
	全体総括	町の主要観光であるたくみの里も入込数が年々減少してきている。そのため、従来通りのやり方ではなく、地域が一体となる組織構築を行わなければならない。				今後の改革改善案	現状は行政の関与が必要であるが、今後は新治農村公園公社に事務を移管する方向にもっていきたくみの里関係者が情報共有、問題点の打開策等検討できる場、組織づくりをする必要がある				課題とその解決策	現在たくみの里では、各部会の組織がまとまっておらず、行政の関与が必要だが、組織構築後事務をみなかみ農村公園公社に移管する方向が今後はよいと思う												